

## カネミ油症について、学びませんか？

カネミ油症は、米ぬか油（カネミライスオイル）によって福岡県・長崎県など西日本一帯で起きた食中毒事件であり、50年前の1968年（昭和43年）10月に発覚しました。

米ぬか油に混入した有機塩素化合物 PCB（ポリ塩化ビフェニル）・ダイオキシン類による化学性食中毒事件であり、今なお深刻な健康被害が続いております。

事件から50年を経過するにあたり、5月から10月まで全6回でカネミ油症について学ぶ市民講座を開催しますので学んでみませんか？

- ◆ 対象 中学生以上の方
- ◆ 場所 五島市福江総合福祉保健センター（五島市三尾野1丁目7番1号）
- ◆ 申込方法 下記連絡先へ電話で申し込みをお願いします。
- ◆ 連絡先 カネミ油症事件発生50年事業実行委員会事務局  
（五島市国保健康政策課内）  
電話：0959-74-5831（直通）

	開催日	時間（予定）	講師
第1回	5月19日（土）	13時半～15時	下田守（下関市立大学名誉教授）
第2回	6月9日（土）	13時半～15時	谷尾恵子 （九州大学病院油症ダイオキシン研究診療センター）
第3回	7月21日（土）	13時半～15時	旭梶山英臣（カネミ油症被害者五島市の会）
第4回	8月4日（土）	13時半～15時	古坂良文（五島ひだまり法律事務所）
第5回	9月8日（土）	13時半～15時	和田嘉毅（カネミ油症を共に考える会）
第6回	10月6日（土）	13時半～15時	山岡央（カネミ油症被害者支援センター）

※講師等の都合により変更となる場合があります。